

令和6年度 Montessori ちゃいるどはうす自己評価結果報告

認定こども園 Montessori ちゃいるどはうす

こども園においては、保育・教育過程を踏まえ、それぞれの指導計画や食育計画などに基づいた実践の振り返りを重視しており、保育・教育の内容等の自己評価及び公表を努力義務としています。自己評価を通して園の特性を生かしたさらに質の高い保育・教育実践に努め、職員の資質向上及び専門性の向上を図ると共に、社会的責任を果たしていかなければならないと考えております。

当園では、下記にあります自己評価チェックリストの結果を元に、園としての評価及び振り返りを行いました。この結果を、今後、本園がさらに豊かな保育・教育実践を展開していくために活用し、子どもの幸せに寄与できるように努めていきます。

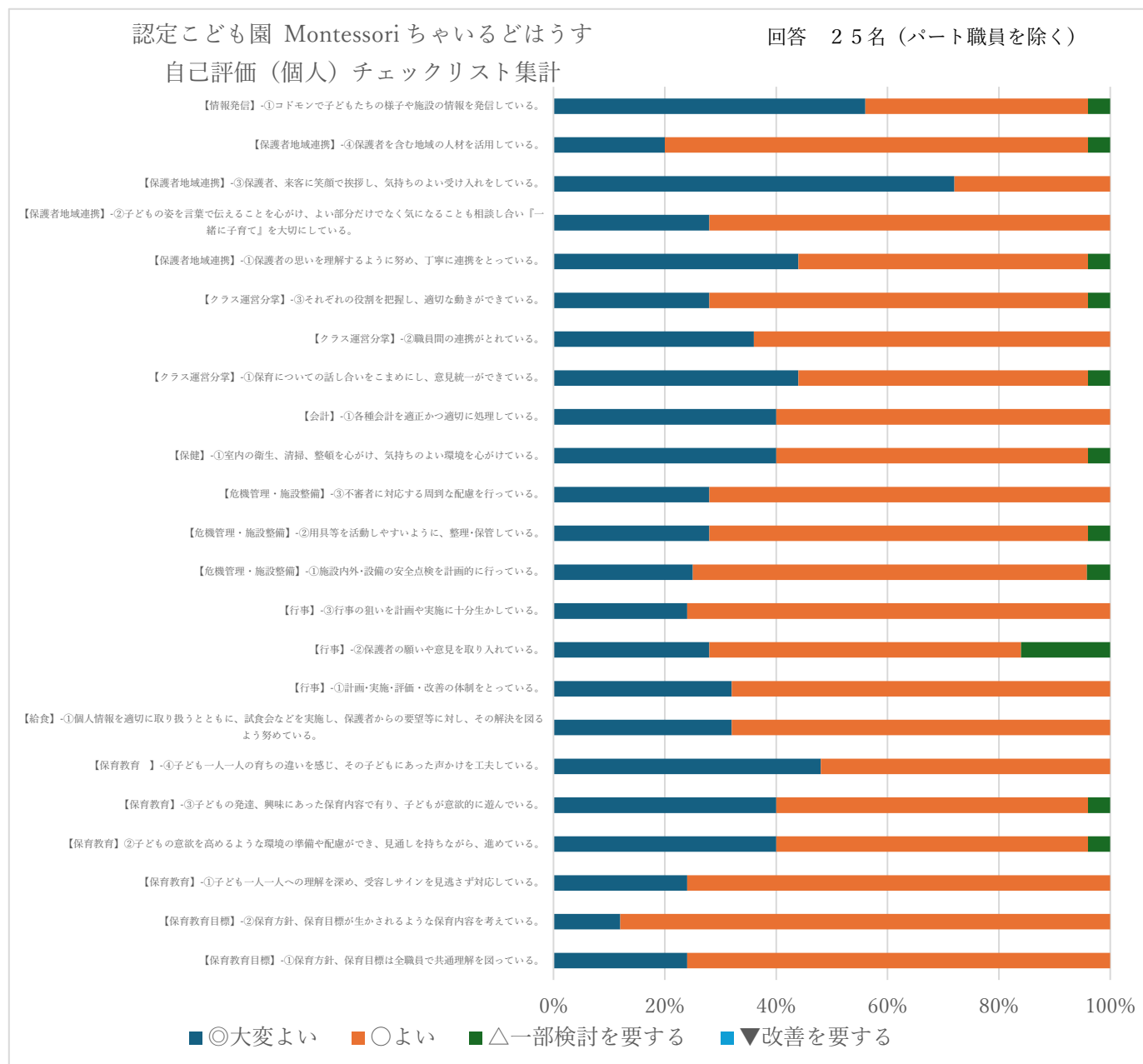
<自己評価チェックリスト（個人）内容>

保育方針・保育目標 「いろいろなことに挑戦できる子」「自分のことは自分で出来る子」「やさしく強い心をもった子」

項目	内容
保育目標	①保育方針、保育目標は全職員で共通理解を図っている。
	②保育方針、保育目標が生かされるような保育内容を考えている。
保育	①子ども一人一人への理解を深め、受容しサインを見逃さず対応している。
	②子どもの意欲を高めるような環境の準備や配慮ができ、見通しを持ちながら、進めている。
	③子どもの発達、興味にあった保育内容で有り、子どもが意欲的に遊んでいる。
	④子ども一人一人の育ちの違いを感じ、その子どもにあった声かけを工夫している。
給食	①個人情報適切に取り扱うとともに、試食会などを実施し、保護者からの要望等に対し、その解決を図るよう努めている。
行事	①計画・実施・評価・改善の体制をとっている。
	②保護者の願いや意見を取り入れている。
	③行事の狙いを計画や実施に十分生かしている。
施設整備 危機管理	①施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている。
	②用具等を活動しやすいように、整理・保管している。
	③不審者に対応する周知な配慮を行っている。
保健	①室内の衛生、清掃、整頓を心がけ、気持ちのよい環境を心がけている。
会計 処理	①各種会計を適正かつ適切に処理している。
分掌 クラス運営	①保育についての話し合いをこまめにし、意見統一ができています。
	②職員間の連携がとれている。
	③それぞれの役割を把握し、適切な動きができています。
保護者 地域連携	①保護者の思いを理解するように努め、丁寧に連携をとっている。
	②子どもの姿を伝えることを心がけ、よい部分だけでなく気になることも相談し合い『一緒に子育て』を大切にしている。
	③保護者、来客に笑顔で挨拶し、気持ちのよい受け入れをしている。
	④保護者を含む地域の人材を活用している。
情報発信	①コドモンで子どもたちの様子や施設の情報を発信している。

<Montessori ちゃいるどはうす自己評価（個人）結果及び考察改善点等>

1 自己評価チェックリスト（個別）集計結果



2 考察及び課題・改善点

【保育目標について】

- ・モンテッソーリ教育をベースに、発達段階に応じた保育目標に沿い、行事や特別教育の年間計画を作成し保育を実践することができた。
- ・途中入社の職員に対する保育目標、年間計画の周知の必要性についてクラスリーダーが理解し配慮している。新人研修の機会を増やしていきたい。
- ・クラスリーダーが中心となり、全職員が保育目標や年間計画に沿った保育を実践できるよう協力し取り組んでいる。

【保育】

- ・ 全職員が一人一人の発達を理解し、個に応じた関りをするため担任同士で連携しながらより良い保育のあり方を研修し日々保育にあたっている。
- ・ 子ども理解のための事例検討会など積極的に取り組んでいる。
- ・ モンテッソーリ教育の実践研修を積み重ね、環境の充実をすすめている。限られた時間の中で職員同士が役割を分担、協力し合い、環境整備を行っていることは大いに評価できる。
- ・ 整った環境の中で子どもたちが自ら選び活動する生き生きとした表情を見ることができた。

【給食】

- ・ 参観会で実際に同じ給食を食べる機会を提供したり、コドモンで実際の給食の写真を公開したりすることができ、保護者が、園での様子を知る機会をつくった。
- ・ 海外を含め様々な地域の食文化に触れるための料理の紹介を実践しており国際文化理解につながる一つの機会とすることができた。

【行事】

- ・ 行事を通して豊かな感性を育むためのいろいろな体験をすることができた。
- ・ アンケートを実施し、保護者の意見を受け入れ改善できる点は改善するよう努力している。すべての意見を取り入れていくのは難しい面もあるが、職員がその都度話し合い、より良い方向性を探っている。今後も意見交換を密にしながら行事を行っていききたい。
- ・ アンケートを参考に反省点を生かしながら次年度の行事を計画していききたい。

【施設整備・危機管理】

- ・ 施設の安全点検を頻繁に行い不備な点については担当に報告し速やかに対応できる体制が整っている。
- ・ 不審者対応訓練も避難訓練とともに行った。今後も年間計画に位置付けていく。

【保健】

- ・ 全ての職員が日頃から心がけている。特に整頓、清掃は役割分担をしながら意識して取り組んでいる。この体制を今後も持続したい。

【会計処理】

- ・ 複数人でチェックする体制が整っている。

【クラス経営・役割分担】

- ・ 勤務体制の違いがある中で、全員が適宜連絡を取り合うための伝達手段（チームス）を活用し、クラス運営を円滑にしている。
- ・ 教材作りなどは時間のある職員が誰でも取り組める体制を作ることができている。

【保護者連携・地域連携】

- ・ コドモンで園児の様子を伝えたり、保護者と連絡をとるようにしている。
- ・ 話し合いが必要な時には面談の場を設けている。
- ・ 小さな出来事でもクラス内で共有し、必要に応じてチームスにて全職員に周知するようにしている。
- ・ ボランティアで多くの保護者にご協力をいただき感謝している。
- ・ 行事等にご協力いただける地域の町内会や企業様との関係を築いている。

【情報発信】

- ・ コドモンを今年度導入した。
- ・ コドモンの課題、効果や活用する方法については今後さらに検証していく必要がある。